

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
「伊予鉄道港山駅(愛媛県松山市)生活交通改善事業計画」

1. 事業の目的・必要性

近年、視覚障害のある方が駅ホームから線路に転落し、亡くられる事故が発生しており、鉄道利用者の転落防止への取組みが求められている。
伊予鉄道港山駅は点字ブロックが未設置であるため、今般ホームに点字ブロックを整備し、転落防止等の安全対策を講じるものである。

2. 事業の定量的な目標及び効果

伊予鉄道港山駅での転落防止対策として、ホームに点字ブロックを設置することにより、利用者の安全を確保する。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1)内容

- ・港山駅ホームにJIS規格点字ブロックを設置
- ・港山駅ホームの舗装及び区画線を一部修繕

(2)事業者

伊予鉄道株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担割合

事業費:3,600千円

【内訳】

負担者	負担額(見込)	負担割合
伊予鉄道株式会社	2,400千円	66.7%
国	1,200千円	33.3%

5. 計画期間

令和4年11月～令和5年2月

6. 協議会の開催状況と主な議論

平成29年7月 開催

平成29年度生活交通改善事業計画【鉄道施設のバリアフリー化設備等整備事業】について合意

令和4年9月 開催

令和4年度生活交通改善事業計画【鉄道施設のバリアフリー化設備等整備事業】について合意